

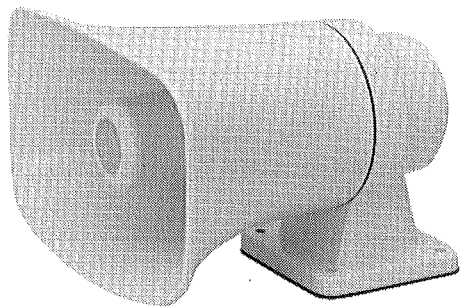


このたびはノボル電子式汽笛をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、必ず保管してください。(保証書付)

SG-122







■目次




安全上のご注意	2
概要	4
取り扱いおよび使用上のご注意	5
取付場所および取付方法	6
接続方法	8
汽笛の操作方法	9
放送アンプの操作方法	10
外形寸法図	10
仕様	11
品質保証書	12


■安全上のご注意

この安全上のご注意および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意	この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	 禁止	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。
		 強制	この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 ●の中や近くに具体的な強制・指示内容が描かれています。

 警告	
<p>表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。 火災、感電の原因となります。 この機器を使用できるのは、日本国内のみです。商用（AC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。</p>	 禁止
<p>本機に防水カバー等を被せたまま航行しないでください。吹鳴時、音が小さくなり、事故の原因となります。</p>	 禁止

 注意	
<p>この機器を改造しないでください。火災、感電の原因となることがあります。</p>	 分解禁止
<p>万一、次の異常が起きたら、スイッチを切り、電源コードを外して販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲煙が出ている。変なにおいがする。 ▲コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）。 ▲内部に水や異物が入った。 ▲落としたり、ケースを破損したとき。 ▲音が出ないとき。 	 強制

 注意

電源コードが傷んだら、(芯線の露出、断線など) 販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。



注意

本機は振動や強風雨の影響を受けやすいので十分強度のあるところに堅固に取付けてください。ぐらついた台の上や傾いた場所などに設置すると落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

スピーカに耳を近づけないでください。聴力障害などの原因となることがあります。



注意

長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

お手入れの際は安全のため、電源コードを外して行ってください。電源が入った状態でお手入れされますと、スイッチに誤って触れたときに突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



強制

スピーカコードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災の原因となることがあります。コードの上を敷物などで覆いますと、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがありますのでやめてください。



禁止

スピーカコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災の原因となることがあります。



禁止

■概要

- ・本機 SG-122 は「1972 年の海上における衝突の予防のための国際規則」およびわが国の海上衝突予防法ならびに同施行規則に基づく、全長 20m 未満の船舶に装備する汽笛（音圧が 120 デシベル以上 130 デシベル未満のもの）です。
- ・本機はホーンスピーカと電子回路を一体構造とし、外郭の総てを耐候性プラスチックで構成した、小型、軽量の電子式汽笛です。
- ・本機は電源（DC24V）と吹鳴スイッチ（押しボタンスイッチ等）を接続するだけで、簡単に信号の吹鳴を行うことができます。
- ・本機は別付けでマイク放送用アンプを使用すればマイク放送等を行う事ができます。この場合、汽笛に電源が供給されると自動的にマイク放送が切断され汽笛が作動します。

注意

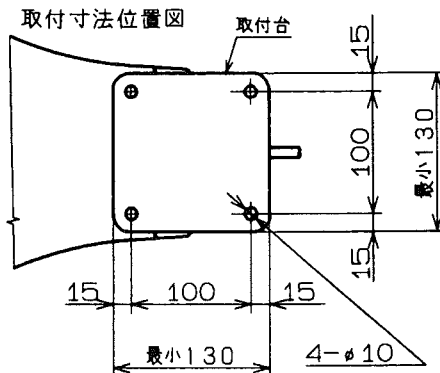
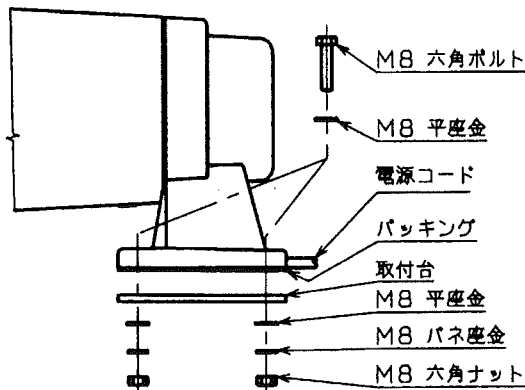
- ・アンプは出力 30W 以下、インピーダンスは 4～16Ωの物を使用してください。

■ 取り扱いおよび使用上のご注意

- ・取付はボルト等で十分強度のある所に確実に固定してください。固定が不十分な場合風雨等で落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- ・本機に物をぶつけたり、物を引っ掛けたり、物を乗せたりしないでください。破損や故障の原因となります。物がぶつかったり、引っ掛かったりしない所に取付けてください。
- ・電源コードを加熱したり、引っ張ったり、物を乗せたりしないでください。傷ついたり、破損したりし、火災や故障の原因となります。
- ・本機開口部に物を詰めたり、開口部を塞いだ状態で吹鳴させないでください。故障の原因となることがあります。
- ・本機は非常に大きな音がでます、近傍に人がいる場合、人を排除してから吹鳴してください。大音量のため聴覚に支障をきたすことがあります。
- ・お手入れされる時はシンナー、ベンジン等の溶剤や、薬品を使用しないでください。変質、変色、変形します。水か中性洗剤をうすめた物を布につけてふいてください。

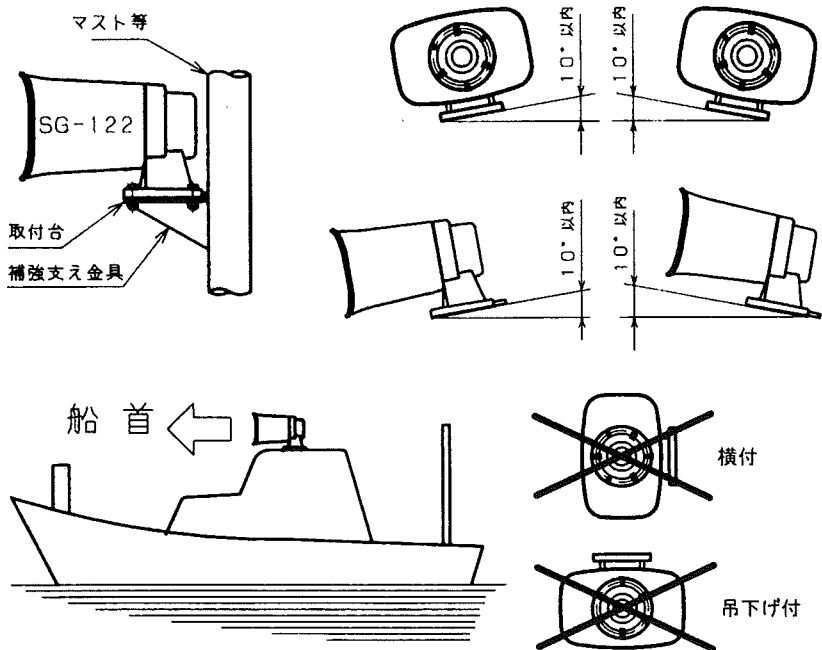
■取付場所および取付方法

- ・本機からは、大きな音が出ますので出来る限り高い位置で、吹鳴時近くに人が立ち入らなく、また本機前面に音を遮蔽する障害物のないところに設置してください。
- ・本機には、停泊、航行時に風雨等により大きな力が取付部に加わりますので、十分強度のある所に M8 六角ボルト等 4 本で、振動等による緩みが生じないように確実に取り付けてください。なお、取付ボルト類等はステンレス製の物を使用し、防水処理を施してください。
- ・電源コードは、物が引っ掛かたり、振動で揺れたりしないように、船体等に固定してください。



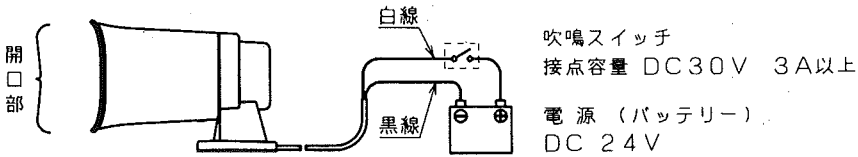
単位 [mm]

- ・マスト等に取り付ける場合は、補強支え金具等で確実に固定してください。
- ・本機開口部を船首方向にむけ、取付面が水平（10度以内）になるように取り付けてください。
- ・取付面が必ず下側にして水平（10度以内）に取り付けてください。横向きや吊下げて取り付ると内部に水が溜まり故障することがありますので避けてください。
- ・本機から直接船内にコードを引き込む場合はパッキングのセンター部を破り引き込んでください。パッキングはコード穴が塞がる様前後を逆に挿入し、取付台周りの防水を確実に行ってください。



■接続方法 汽笛として使用する場合

- ・電源コードは、吹鳴スイッチを経由し、電源（DC24V バッテリー）に接続してください。
- ・電源コードには極性はありませんが、白線を電源のプラス（+）側に黒線を電源のマイナス（-）側に接続してください。赤線と緑線はスピーカ入力線で別付け放送アンプを使用しない場合は分岐点で切断するか他の物に当たらない様にテーピングしてください。
- ・電源や吹鳴スイッチからのコードには 0.75mm²以上の物を使用してください。
- ・吹鳴スイッチには、接点容量が DC30V 3A以上のものを使用してください。

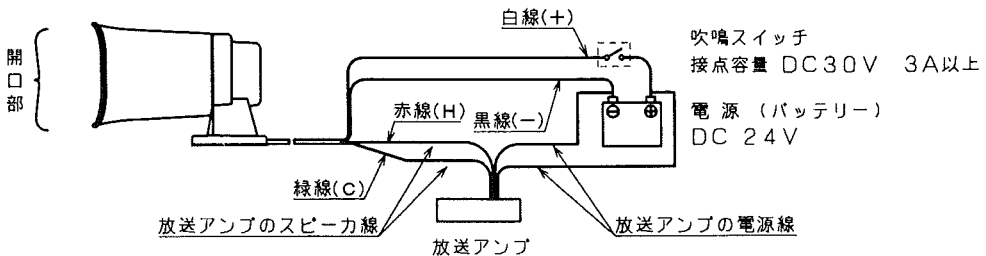


■接続方法 汽笛とマイク放送等を行う場合

- ・放送アンプは当社 24V 用、出力 20W の YT-24, YA-424B が最適です。
- ・放送アンプの取扱説明書を良く読み注意して接続してください。仕様を必ず確認してください。
- ・上記接続において、赤線と緑線に放送アンプのスピーカ線を接続してください。この場合、汽笛のスイッチを入りにすると自動的にマイク放送が切断され汽笛が作動します。汽笛のスイッチを切りにすると自動的にマイク放送に戻ります。

注意

- ・放送アンプの出力は 30W 以下、インピーダンスは 4~16Ω の物を使用してください。
- ・放送アンプの出力が 30W 以上になるとスピーカが壊れ汽笛も動作しなくなります。
- ・また、放送アンプのインピーダンスが 16Ω より高い場合放送アンプが壊れます。
- ・各線は確実に接続し他の線等にショート（接触）しない様に絶縁を確実に行ってください。



■汽笛の操作方法

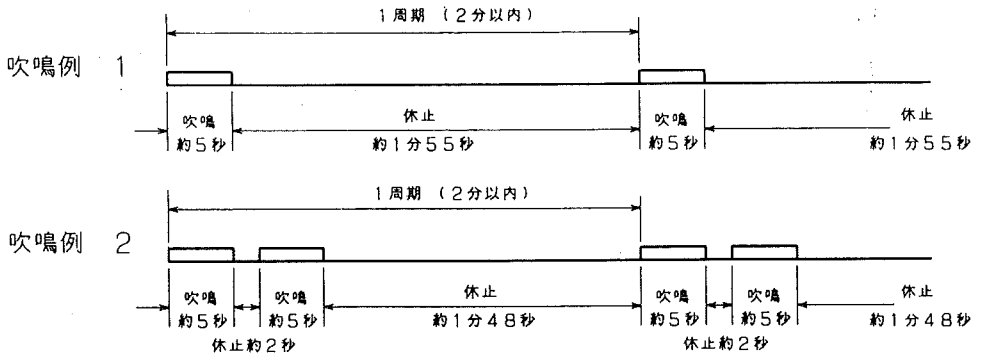
- ・吹鳴スイッチを入れる (ON にする) ことにより入れて (ON して) いる間吹鳴します。
- ・海上衝突予防法に基づき吹鳴を行ってください。

■放送アンプの操作方法

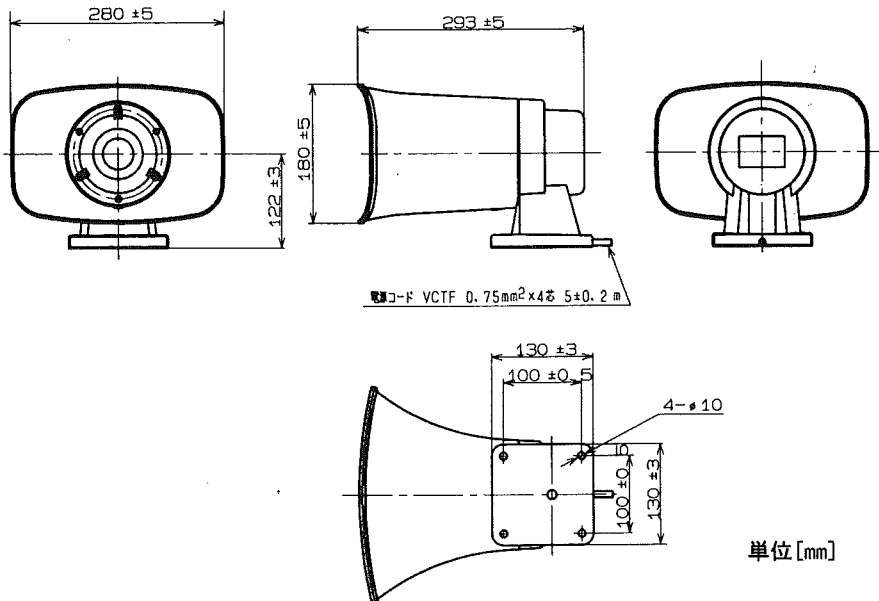
- ・放送アンプの取扱説明書を良く読み取扱説明書に従って操作してください。

注意

- ・汽笛は必要時以外は吹鳴しないでください。
- ・汽笛は長時間連続して吹鳴しないでください。



■外形寸法図



■仕様

型 式	SG-122
外 形 寸 法	10ページに記載
定 格 電 圧	DC26.4V
使用電圧範囲	DC23~30V
定 格 電 流	約1.2A
基 本 周 波 数	650Hz
音 圧 レ ベ ル	1/3オクターブバンドレベル 120dB/1m 以上
絶 縁 抵 抗	DC500Vにて 10MΩ以上
耐 電 圧	AC500Vにて 1分間異常なし
指 向 性	軸方向(0度)に対して±45° 以内で-4dB以内 その他の方向で-10dB以内
連 続 耐 久 性	5秒吹鳴55秒休止で6時間以上
防 水 性	いずれの方向から距離3mで15分間、内径25mm以上のノズルで水頭10mの水を注ぎ浸水なし
質 量	約2.8kg
色 調	ライトグレイッシュホワイト マンセルN-9, 5近似色

環境性能は汽笛の型式承認規則に合致する。

スピーカ部仕様	スピーカ入力	赤線(H)、緑線(C)
	入力 30W	インピーダンス16Ω

品質保証書 持込み

型名	★製造番号		この保証書は無料修理規定により無料修理を行なうことを約束するものです。 お買い上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。 修理品の送料はご使用者においてご負担ください。
保証期間	SG-122 お買い上げから一年間 但し、消耗品を除く（詳しくは下記に記載）		
お買い上げ日	★ 年 月 日		
★お客様欄	ご住所	〒 — Tel. () —	★販売店
お名前	様		住所・店名・電話番号

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。製造番号については本体に貼付している規格銘板近くに貼付しています。本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管ください。

<無償修理規定>

1. 取扱説明書、本体注意銘板などに従った、正常な使用状態で、保証期間内に万一故障した場合、商品と本書をお買上の販売店にご持参、ご提示の上、修理をご依頼ください。無償にて修理いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合は有償修理となります。
 - (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
 - (2) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧などによる故障および損傷。
 - (4) 常識的に正常な動作であるにもかかわらず、修理または、部品交換等の要求をされる場合。
 - (5) 本製品に接続された当社指定以外の機器故障に起因する故障。
 - (6) お客様のご都合による、出張修理を行なった場合の出張費用。
 - (7) 保証書のご提示が無い場合。
 - (8) 保証書にお買上日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合。
3. この保証書は日本国内においてのみ、有効です。

This warranty is valid only in Japan

修理メモ

- * 本製品の故障に起因する付随的損害についての保証はお受けできません。
- * この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な場合、お買上の販売店または最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。



株式会社 **ノボル電機製作所**
 株式会社

拡声用音響装置

顧客サービスセンター	フリーダイヤル（無料電話） Tel.0120-014-602 受付時間 9:00~17:00 商品や技術など、お問い合わせにお応えします。
-------------------	---

本社・工場 〒576-0051 大阪府交野市倉治3丁目5-10 Tel.072-891-4602

978609 '03. 9. 1K(N)